



卒業式式辞

3月1日(月)

麗らかな春の日差しとともに ここ 為桜学園の桜の蕾も膨らみ始め 万朶の桜となって咲き誇る姿が 待ち遠しく感じられます

ただいま 卒業証書を手にした 二百七十五名のみなさん 卒業おめでとうございます みなさんが 本校第百二十回卒業生となり そして二万八千九百三十五名を数える卒業生の一員となられたことを 会場にご臨席の皆様とともに喜びたいと思います

保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます これまでお子様に対し 深い愛情を注ぎ 支え励ましながらも 多くのご苦労や心配事を経験されて 本日を迎え 喜びと安堵の気持ちも一入のことと拝察いたします 本当にご苦労様でした 加えて 本校の教育活動に対してご理解とご支援を頂きましたことに厚く御礼申し上げます ありがとうございます

さて 本日 母校を巣立つ卒業生のみなさん 本校での生活は如何でしたか

大学入学共通テスト第一期生として 手探りの対応をする中 度重なる変更に加え 新型コロナウイルス感染症が追い打ちをかけ

思い描いた高校生活の総仕上げに大きな障壁となりました

休校期間中 学校は静まり返り 生徒のみなさんをはじめ 皆重苦しい空気に耐えていました

しかし 休校明けに戻ってきた皆さんが 明るく元気に活動する姿は 目を見張るべきものでした 一人一人の心情までは 窺い知ることはできませんが 残された時間を 少しでも充実させようとする姿は 我々を励まし勇気づけてくれました 生徒が学習や運動に躍動する姿こそ 本校の原動力です 本当によく頑張ってくれました

今回の試練を教訓として整理してみると 我々が経験するすべてのことに関して 想定外といえることは 無く 必ず起こりうる と考えなければなりません 誰もが どんな時代でも 初めての 人生を歩んでいます 未知の困難に遭遇した時にこそ その人の真価が問われるのです

今 日本に限らず世界全体の変化が加速し続け 価値観も多様化しています みなさんは 学校教育の中では 模範解答のある問題に答えることで評価されてきましたが これからは 多くの正解のない問いに 向き合うこととなります

求められるのは 理解できないこと・わからないことから目を背けずに 耐えな



から その時々最適な解を出していくことです ただ努力を重ねるだけではない
柔軟な対応力も必要です

幸いにも本校には 「立てや筑麓健男児 漲る雄図示すべし」の「為桜魂」を発
揮して 大きな業績を挙げた先輩方が数多く存在することを励みにしてください

恐れることはありません 本校の卒業生となられた皆さんにも ここ為桜学園で
培った「学べる力」を「身に込めて」進めば「山なす浪」を乗り越えることができ
ます 本当の学びが待つ新たな旅立ちに祝福を送ります

名残は尽きません 結びとして 下妻一高がこれからも卒業生の心の拠り所とし
て皆さんを見守り続けること この先も発展することを約束し 本日ここにお集ま
りの皆様の健康と 益々のご活躍を祈念し 式辞といたします

令和三年三月一日

茨城県立下妻第一高等学校長 細野晃一